



各 位

平成29年5月11日

会社名 住友大阪セメント株式会社
代表者名 取締役社長 関根 福一
(コード番号 5232 東証第1部)
問合せ先 総務部長 森 智明
(TEL03-5211-4505)

2017-19年度中期経営計画策定のお知らせ

当社は、このたび2017年度から2019年度までを対象とした中期経営計画を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 経営方針

(1) 将来目指すべき方向性

国内セメント需要が、当面は東京オリンピック・パラリンピック等もあり、現状レベルで推移するものの、長期的には緩やかに減少していく見込みであること、光電子事業・新材料事業における主要製品の市場が、ニッチではあるが今後拡大が見込まれることといった現状認識をふまえ、以下のとおり当社の将来めざすべき方向性を定める。

『セメント関連事業および高機能品事業の両事業分野で市場を拡大し、安定的に成長し続ける企業グループとなる。』

*セメント関連事業：国内・海外セメント事業、固化材・生コン販売、鋳産品事業、
補修材料・地盤改良事業、発電事業、環境事業 等
高機能品事業：光電子事業、電子材料事業、ナノ材料事業、電池材料事業 等

(2) 中期経営計画の基本方針

将来めざすべき方向性実現に向け、中期経営計画の基本方針を以下のとおり定める。

『本中期計画を成長のための最大のチャンスと捉え、確実に成長の布石を打つ』

本方針にしたがい、事業領域の見直し、連携・シナジーの追求により、新たな成長分野を開拓する戦略を策定する。

また、バランスの取れた資源配分により、その戦略を積極的に実施していく。

(3) 各事業分野の考え方

基本方針に沿った各事業分野の成長戦略の考え方は以下のとおり。

セメント関連事業：単独で成長が見込みにくい分野であり、各事業のシナジーにより周辺市場を開拓・拡大することで成長をめざす。
海外市場についても、その一市場と捉え、開拓していく。

高機能品事業：個別市場の成長が見込まれる分野であり、その市場拡大に合わせた積極的な増産対応をすることで成長をめざす。
新規事業・新製品の開発も、その周辺領域をターゲットとする。

2. 数値計画の概要

(1) 損益計画

	中期計画の目標値	対 2016 年度
売上高	2,700 億円	+359 億円
経常利益	300 億円	+74 億円

(2) 設備投資計画

	2017-19 中計	前中計	差
投資総額（3年計）	730 億円	530 億円	+200 億円
減価償却費（3年計）	569 億円	530 億円	+39 億円

(3) 資金計画

営業 CF（3年計）	1,072 億円
投資 CF（3年計）	755 億円
FCF	317 億円

株主還元方針 連結配当性向は、25%程度から 30%程度に拡大する。
自己株取得は、CF および株価を考慮のうえ、最適なタイミングで実施する。

(4) 経営指標

中期計画における以下の指標の目標値

ROA（経常利益／総資産） 9%

ROE（当期純利益／純資産） 10%

なお、詳細につきましては、添付資料「2017-19 年度 中期経営計画」をご覧ください。

以上